

彦島地区まちづくり集会（H25.9.29開催）

彦島地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月29日（日）14:00～15:30

◎場 所 彦島公民館

◎出席団体数 17団体

彦島第一自治連合会、彦島第二自治連合会、彦島第三自治連合会、彦島第四自治連合会、彦島第五自治連合会、向井小学校PTA、角倉小学校PTA、彦島中学校PTA、彦島連合婦人会、彦島老人クラブ連合会、彦島第1地区 民生児童委員協議会、彦島第2民生児童委員協議会、下関市消防団彦島分団、スポーツ推進委員彦島支部、彦島平家踊保存会、彦島地区保健推進委員会、サンフレッシュ彦島

◎市出席者 総合政策部政策調整監：星出恒夫、総合政策部部次長：大崎信一
地域支援課主幹：秋枝淳司、主任：齋藤浩三
彦島支所支所長：皆本国俊

◎傍聴者 2名

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 14:00～ |
| 2 部次長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 14:05～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 14:30～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 15:30 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

彦島地区まちづくり集会（H25.9.29 開催）

【開催の様子】

9月29日に開催した彦島地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から17名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、彦島地区が抱え地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

彦島地区まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

彦島地区まちづくり集会

9月29日

地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
まちづくり			
若者のまちづくりへの参加が少ない			
まちづくり団体役員の役割が多すぎる			
福祉			
商店の閉店(買い物弱者)		高齢者お助け隊の結成	100円バスの割引率・期間を増やす
独居老人の増加		サロン運営への地域の協力	地域のサロン等への補助金交付の検討
民生児童委員の人数が少ない			
安全・安心			
高齢者が安心して歩ける歩道が少ない	車の安全な運転		一定区間をシルバー区間に設定
環境			
ボランティアごみの処分		(老の山公園) 地域全体でよりよい公園のあり方を考える	地域の観光資源をもっとPRし、観光客を呼び込む
立ち入り禁止地区の整備・解放			
公園からの景観整備(老の山)			
居住環境が悪化している			居住環境を規制する条例等の整備

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

皆さんこんにちは。大変な問題だとは思いますが、いずれは片をつけなきゃならないことだと思います。僭越ながら司会進行を務めさせていただきますのでよろしく願いいたします。

それでは地域の現状と将来を見据えた課題についてということですので、まずは地域の課題を自由に出していただき分野ごとに整理したいと思います。なおご発言される場合は挙手をお願いいたします。またこの課題整理は時間の関係上15時までといたしますので発言は簡潔をお願いいたします。

早速ではございますが、どなたかご意見ございませんでしょうか。今の話を聞いただけですぐご意見と言ってもなかなか無いと思うんです。何日も何日も考えていたのならあれですけどね。ちょっとなんか身近なことで、これはという事がございましたらお願いします。

【市民】

彦島消防団をしています。先ほどの市の説明について、本当に理解できたかどうかはわかりませんが、例えば彦島を良くするという意味なのかと思いました。

今の話を縮小して考えると、今日はたまたま弟子待の会長が来られていますが、自治会で色々と動くことが多くて、色々な協力という面で考えると、自治会の役員をされてる方はお年寄りが多いので、若者の力を借りんにやいけないということで、町内会の役員はもちろんです。町内の運営の中での祭やその他行事、それに伴う肉体労働的なこともあるので、やっぱり町内会の役員だけでは進められないということで、一応皆さんで有志会を作って動ける方や若い方にも協力してもらっています。

そういうのを大きくするというのが、今、簡単に弟子待の状況についてちょっと説明しましたが、それを彦島版にするのが目的なのかなと感じました。

市のお話を聞くと、彦島を活性させるというのか、彦島全体から考えると、私らは祭が好きで、本日は平家太鼓の方もいらっしゃいますが、彦島まつりが無くなりました。

現在、四連合でふるさとまつりをしたり、地元では昔からの盆踊りをメインとして夏に開催するなどしていますが、そういったものを活性というか、彦島を元気にするというか、若者の力を引き出すというような意味なのか。

今、ここに若い方も来られていますが、結構、年の方が多いので今後はきつくなるんじゃないかなと感じています。

私たちも、弟子待のことを言えば、私たち自身が年寄グループに入りつつあるんですが、若い方とのつながりを持たないといけないというのが、町内のひとつの気持ちでして、そういったものを、今から彦島全体で、例えば組織を作ろうとされているのですか。

それとも、地域の皆さんの意見を聞くだけでいいんですか。

そういった組織を簡単に作るのであれば、自治会が主になって、今、来られてる方をメンバー、彦島の色々なことを担当する偉い方が来られていますので、私は消防団で来てい

ますが。

【司会】

ゆくゆくは組織を作ることになるのですが、その前に、彦島ではこんな問題があるというものを出して頂いて、当面はそれをどうするかというような話です。

ただ、いずれに致しましても今まで私どもが思っていた考え方を、全部がらりと変えなきゃならないんでしょうけどね。

だから、今も言うように年には勝てませんので、会社がらみの自治会は良く分かりませんが、一般の自治会役員は65歳以上の方で恐らく固まってる。60歳ぐらいならまだ若い部類で、恐らく70歳以上で固めていると思うので、そこへ話を持って行って肉体的な活動と言われてもそれはちょっと難しいと思います。

それも問題の1つですけど、それにしても若い人がいないね。

【市民】

それと、今言った彦島まつりが無くなったので寂しいよという声もよく聞きます。だからといって、止めた原因というのは良く分からないけど、多分、自治会の運営で大変きつくなったということが原因じゃないかなと私は思っているんですけどね。

【司会】

彦島まつりの運営も、爺さん、婆さんばかりじゃどうにもならんということで、止めようとなった話なんですよ。

ここで言う話でもないかもしれませんが、市が全面的に手を引いたのが事の起こりですから。それまでは市の職員にやってもらっていたのが、何かの関係で明日からは今後一切出来ませんと言われ、それなら地元だけでやるにしても全部はできないということで、切っぴいこうという風になったと聞いております。

だから、ここでの話はゆくゆく組織作りになるので、当面はひとつ課題があれば出して頂いてそれを検討ということでお願いします。

【市】

皆さんから頂いたご意見は、前のスクリーンにコンパクトな形で打ち込んで参りますので、参考までに見て頂けたらと思います。

【市民】

何から話をして良いか分からないので、私なりにまとめたものを持ってきましたので、それ読ませて頂いて良いですか。

ちょっと、弟子待の事ですが一応4項目ほど読ませて頂きます。

弟子待に唯一残っていた商店とたばこ屋が、今年いっぱい辞めることになりました。また、弟子待は三方を山に囲まれた陸の孤島のようなもので、お年寄りにとっては買い物に行くのも不便で買い物弱者が今後、増えると思われます。そのため買い物に行かないで配達を頼むとか生協に入るといった手段もありますが、やはり自分で見て買物がしたいという方が大半だと思います。そのために私は次の2点を行政に支援してもらいたいと思います。

普通に買い物に行くのが困難と思われる人には、バスやタクシーの半額割引チケット。

今、100円バスが期間的にありますすが、その期間を早くする。この場合、タクシーは彦島市内とか、バスは下関駅までと限定する。

それから、今弟子待から杉田方面に行くまでの道路に、年寄が安心して歩けるシルバーゾーンを設けてほしいということです。それが第1項目。

第2項目は、弟子待には鉄道浜と海軍浜があり、ここからの眺めは素晴らしく皆に誇れるものと思いますが、海からのごみや流木によってせつかくの景観を損なわせています。

自治会やボランティアで年に1～2回、砂浜の清掃を呼びかけたらどうでしょうか。特に海軍浜には、人の手では動かさないような流木が散在しています。ビニールやプラスチック類は分類して消防署立ち会いの下、現地で焼却とかができないものでしょうか。

次に3項目、山や海は立ち入り禁止区域ばかりが増えています。今の子ども達は外で遊ばなくなっています。国や企業団体、地主たちが、山や海などのこの貴重な自然を管理できなくなっています。特に、この弟子待は彦島の中でも自然に恵まれた景観の良い地域だと思います。立ち入り禁止区域を自治会や住民の手で安全なものにし、地域住民や子ども達に開放して、自然と共有し遊び学べる社会にすることはできないでしょうか。

4番目、老の山公園の入園者は、リニューアル当初に比べ大幅に減少しています。新しい遊具にも飽きてきたのかもしれませんが。最近芝生も荒れてきているなど、手入れも余りされていないようです。管理費も莫大にかかり維持するのも大変だと思います。

しかし、私は老の山の魅力は花や芝生の手入れではなくて周囲が見渡せる景観だと思います。東屋から見る関門橋、三菱重工のクレーン、巖流島、海峡タワー、見晴らしの丘から見る小倉から戸畑までの北九州工場地帯、響灘、風の丘から見る六連島、蓋井島、北浦、彦島大橋、人工島。

しかし、これらの景観は木々の間からわずかに見える程度であり、思いきってそれが見えるように邪魔な木々を伐採し、老の山公園を360度のパノラマ展望台公園として蘇らせ、大いに宣伝し火の山公園に負けないぐらいの景観にしようではありませんか。

以上4点です。ちょっと今日の会議と関係無いかも分かりませんが、あるものもあります。

【司会】

今のお話の中には問題がいくつもあるようでございます。他にはございませんか。

【市民】

彦島中学校のPTA会長をしています。

先ほど、子どもたちがなぜ外で遊ばないかという発言が、若干耳に伝わったもので申し上げたいと思います。

現在、非常に子どもが少なくなっていて、外で遊ぼうと思っても外で遊べないんですよ。実際、友達が少なくなってきたというのと、遊ぶ環境というのがものすごく少なくなっているんです。

そこで、行政に少しお願いがあるんですが、今、彦島全体で小学校が5校、中学校は玄洋中学校と彦島中学校の2校があります。

友達が少ないだけに、これは子ども達を一斉に集めて何かしたいなという課題でもある

訳なんです。

今、彦島中学校と玄洋中学校は、小学校2校が玄洋中、3校が彦島中という形で中学校に進学していますが、彦島の子ども同士であっても顔も知らない子が多くなるので、やっぱりどこの中学校も1年生の時はすごく荒れるんですよ。

そういう現象を無くすためにも、年に1～2回ぐらいは交流の機会として、各小学校、中学校にもコミュニティ・スクールといって自治会と教職員、あとはPTA関係者が集まって会議がありますが、そこで何回も話題になる事ですが、実際、子どもたちが会う機会ってほとんど無いんですよ。

本当に地域の自治会の中でされる盆踊りだとか、そういう時にちょっと逢って、「久しぶり」って挨拶する程度のもので、今は1年に1～2回ぐらいだと思うんです。

これから地域のまちづくり、地区のまちづくりをしていく主体、主人公というのは、やっぱり中学生だと思うんですよ、小学校、中学校の子ども達。

この子達に頑張ってもらえれば、大人も含めて皆がついていけるんじゃないかなっていう気がするんですよ。

あと保護者、自治会、PTAそれから教職員。彦島の中学校、小学校ですね。

これら子ども達と一緒に何かできればなということで、行政にもちょっとご援助頂ければ、このまちづくりにも若干協力できるんじゃないかなっていう事なんです。

今日、平家踊り保存会の方が来ておられますが、ここで彦島の住民に知らしめるというか、彦島にはこんな踊りもあるんだよ、こんな歌もあるんだよっていうのを知ってもらう。やっぱりまだ知らない者も若干いますので、これを機会に、そこら辺から底上げしていく、交流していく、或いはまちづくりを基本から見直していくっていう形でまた新しいものに変えていく事ができるんじゃないかなと私は一個人として意見します。以上です。

【市民】

私はスポーツ推進委員をしています。今、彦島地区に限定しますと彦島文化祭の協賛行事としてスポーツ事業をやっていますが、昨年まではソフトボール、トリムバレーそれからグランドゴルフを行いました。

確かにグランドゴルフは人気が高く、参加者としてお年寄りの方も含め150～200人単位で集まってきます。

ただし、ソフトボールはもう完璧にできない状態ですね。その理由として、若い人が出て来ないんですよ。

【司会】

出てきませんか。

【市民】

出てきません。それと、もう1つは中学校にしても小学校にしても、父兄の方は子どものスポーツに同伴して子どもの応援をしている。だから地域交流のスポーツをするということが現在できない。

特に、トリムバレーに関しては協会ができて、その中で個々に大人の方が活動するという形なので、我々はスポーツを推進してる中で、今、何をしたらいいのかなという感

じであり、今、スポーツ推進員の中でも課題に上がっています。

確かに、地域を活性させるには、スポーツの中で時間を作って年に何回か交流してのが一番いいと思いますが、そのタイミングというか、何をやっていけば良いかというのが少しははっきりと分かわらない状況です。

今、我々はスポーツテニスをやっていますが、それもやはり競技人口が少ない。

それに、ノルディック・ウォーキングといってポールを持って歩く競技、歩くスポーツがあるのですが、これもなかなか参加者が少ない状況です。

何かしなきゃいけないなという気持ちはあるんですが、できないというジレンマがあります。

これは先ほど言われたように、校区単位で小学校が5校区ありますが、その小学校5校区の中にスポーツ推進委員が2～3名いますので、その中で色々やろうとしていますが、なかなか目的がはっきりしてないという状況です。

問題点ばかりですが、何もできない自分がいます。

【司会】

どうもありがとうございました。他どうでしょうか。

【市民】

まずは各町内が発展しないと、まちづくりはできないんですよ。我々の町内でも75歳以上の高齢者が186名もいます。そのうち、まだよく把握していませんが、独居の人がかなり多いんですよ。

そこで、今、小学校に子どもの見守り隊というのがありますが、我々の町内では、独自にお年寄りの見守り隊を作ろうかなと思っています。

その理由として、民生委員、保健推進委員は町内に5人しかいませんが、班長さんや区長さんというのは五十数名いらっしゃいますので、まずは、その小班ごとに市報を手渡しで配って欲しい。独居老人の所には特に手渡しで、また、ポストに沢山の郵便物などが詰まった状態なら、すぐに連絡して頂くとかそういう制度を作っていこうかなと思っています。

それで一応10月から動き出すのですが、それに今度は、お助け隊を作り、高齢者で伸びた草を刈れず、誰か草刈りを手伝ってもらえないかといった場合に、有志会みたいな形で作ろうと考えています。一応、各町内が活性化しないと絶対に良くなりません。

だから一応子どもにも見守り隊があるので、4連合にはずっと子どもの見守りはあるけど、お年寄りの見守り隊っていうのは全然無いですよ。

民生委員さんが町内に3人しかいないので、その3人に何百人の高齢者を見てくれという訳にもいきませんので、そういえば班長さんっていうのは小班に1人いるじゃないかと。

その人たちが責任持って月一度の市報配布を手渡し、ただポストに入れるんじゃなく手渡しを強制的にさせようかなと思っています。

今のところ我々の町内はそういうふうにしていって、先ほど消防団の方も言われたように、有志会のような形でお助け隊も作りたいなという希望を持っています。以上です。

【市民】

民生委員の第一地区ということで、海士から本村、迫、西山、竹ノ子までの範囲を受け持っておりますが、今、高齢者の方がとても多くなっておりまして高齢者の見守り、それから児童委員も兼ねておりますので児童の見守りもしております。

ですが、高齢者が多いということで始めるきっかけになりましたのは一人暮らしの方、それから障害の方あるいは昼間1人になられる方を対象として始めたふれあいサロン。

それを今、本村地区と西山地区としておりますけれども、社会福祉協議会からは少し補助を頂きましたが、行政からは頂いておりませんので、結局、民業の活動費で運営しております。ぜひ行政からもそういった世話をしている所に少しでも補助を頂ければ、もう少し活動ができるのではないかと思います。

それから、今、各地域の高齢者が増えておりますし、また介護度の問題も持ち上がっておりますので、なかなか施設に入るとか介護保険の利用ができないという方が多くなっておりますので、少しでも思いサロンをしています、そのサロンを運営するのが今のところ民生委員の役割みたいなことになっておりますが、地域の自治会の方との連携があれば、もっとスムーズに行くのではないかと考えております。

今、民生委員も沢山の高齢者の見守りを抱えておりまして、独居で亡くなられる方もいらっしゃるやまして、何かと範囲が広がっておりますので、もっと福祉委員も増やして欲しいとか、また今のような行政の補助も欲しいなど思っております。よろしく願いいたします。

【市民】

向井小学校PTAをしています。いつもお世話になります。

先ほどスポーツ推進員からもご指摘いただいたスポーツについて、子ども達のスポーツも含めてなんですが、その件でちょっと私なりの思いやご意見があります。

私も1人の子どもの親なのですけれども、様々な各団体がありまして、色々と1人の親に関わる負担というのが実質的に増えているという理由もあるんですね。

まず、子どもが子ども会になぜ入ってないのか。そこだろうとまず僕も思います。

今年のいい例が、例えば市子連という大会がありまして、全く同じ日に育成協議会のソフトボール大会がありました。色々な大会が様々に年間を通じてあるんですね。

例えばソフトボールなんですが、ソフトボールをやっている子どもに関しても年間ほとんどの日曜日、特に6月から12月の中旬までは、ほぼ全てに大会が入ってる状態なんです。土曜日、日曜日、練習もしくは大会。かなり子ども達にも負担が掛っているのも事実だと思います。

僕が言いたかったのは、各大会はそれぞれあるのだと思うのですが、市子連とキッズメイトの大会が同じ日にあったりだとか、尚且つ、それで市子連にも子どもがいない。

大会に参加する方が少なくなるということで、今年度、ポートボールが止めになって軽スポーツ大会みたいなことをやられたという風にも聞いております。

ソフトボールがいいよとか何々がいいよとかっていうことではなく、みんなが気軽に参加できるような軽スポーツも含めて、やはり僕も子ども会に入るように我々PTAとしても是非、自治会と協力していきながらやっていければ、一つのスポーツという面において

も、また自治会の活動においても参加できるのではないかな。

そうするには、どのような方法で考えていったら良いのかなという風にも私は思います。以上です。

【司会】

どうもありがとうございました。時間も迫ってきましたが、まだ何かありますか。

【市民】

彦島平家踊り保存会です。よろしくお願いいたします。

私達は、今、本村に住んでいますが、かなり空き家が目立ってきています。草木が放ったらかしといたしますか、保持していますので犯罪の温床にもなり兼ねないと。

草木が茂って隣近所が迷惑しているという状態が、私の家の近くでもあります。

そういったのは条例化するなり規制を設けるなりして、家主、土地の持ち主に催促といえますか、近隣の方が迷惑しているので家屋を解体して欲しいとか、樹木をきちんと刈って欲しいとかいうようなことの要望ができないものかなと思っております。

税金の関係もあるんでしょうが、家を建ててそのまま住めば税金の額が少ないとかいったことも聞きましたので、そのため家主さんとか土地の持ち主の方が、なかなか手を付けないのかなという面もあるかと思えます。

その辺も色々と考えて頂いて、もう何年も放置されている家、または土地をきちんと管理してもらうようにしないとイケない。

まあ、駐車場にするのも良いんですが、そのまま放ったらかしにしている土地もかなりありますので、何か規制を作って頂いて、子どもの遊び場になるような所であれば、遊具を作って子どものふれあいにといったような形でやっていただければと思います。以上です。

【司会】

どうもありがとうございました。もう1人、誰かご意見ございませんか。

【市民】

農協で野菜を売っていますサンフレッシュ彦島です。

農業関係について、先日、市長室に行った時に申し上げたのですが、常に後継者でございいます。いわゆるここでいう老年者の問題農業に関しては、甚だしいものがあります。

さっきからずっと考えていたのですが、この場で何らかの組織を作ったところで、それが解決できる一面になるんだらうかっていう疑問の方が、先ほどから強くなってきました。

ここに何かができるも、今、私は老町の自治会長もやっていますが、それこそ名のごとく老人ばかりで、私ごときが自治会長をしないとイケない状況です。

厳密に言って現状維持で一杯、動ける人を集めたところと言うとおかしいけど、なかなか複数にはならない。小人数同士が集まったところで、今までの組織と余り変わらないのではないかと思ってしまう。その中で本当に活動ができるか。そこら辺の疑問のほうが強くなっています。

この課題の中に出てくるもの全ては、ベースは若年層の拡大というか、子どもをもっと増やす、若い連中を地域に定住させるといった辺が大きなベースになるのであって、今言

われていた付け焼刃的な組織、育成会などを作っても、老人がその組織をと言ったらおかしいが、高齢者だけでそれを何年維持できるだろうか。

彦島まつりと一緒じゃないかなって思うんですよね。だからすいません大きな建設的な展望っていうのが見出せません。

【司会】

どうもありがとうございました。一応3時を過ぎました。

【市】

すいません、私が発言する立場じゃないかもしれませんが、暗い話ばかりになってきているのでどうしても発言しておきたいと思います。

彦島は、私ここに来て驚いたのは、非常にお年寄りの方々が活発に、元気に動いておられるなというイメージを今でも持っております。公民館で毎日のように70以上の登録団体の方、これかなりお婆ちゃんが多いんですが、相当活発に社交ダンスであるとか踊りであるとかをされておりますし、そういった人たちもかなり沢山いらっしゃる。

今度、文化祭がありますが、カラオケなんかもほとんど玄人はだしの方々が、次から次におられますし、子ども達もまた非常に自治会と共に行事など保存会を中心にやっておられると思います。

マイナス面の課題ばかりしか今挙がっておりませんが、第三連合の運動会も子ども達と一緒に自治会がされていますし、文化祭でスポーツ大会も一緒にやるって事は恐らく他の地域には無いと思いますし、本村でも4カ所、子どもたちも一緒に交えてスポーツ大会もやっています。

各地域で平家踊り保存会が子ども達を中心として祭りをやっているとか、第二角倉校区のスポーツ大会や踊りであるとか、彦島独自でやっていることであり、ほかの地域に無いものがものすごく沢山あると私は思っております。

防災訓練も全島上げてやるっていうような地域は、県内を見てもほとんど無いです。

暴力追放住民集会のパレードもやっていますし、そういう意味で彦島は、正に最先端をいっている地域であり、多くの全国の課題は、彦島では既に解決していると思っております。

だから間違いなく、将来はまたやはりどうしても高齢化に向かっていくのですが、むしろ他の地域にとっては模範的な地域ではないかと私は思っておりますので、先日、地域支援課の方にも言ったんですけど、むしろ彦島の現状をしっかりと見据え今はすごく出来ていると思いますので、これを他地域に情報提供できるような、そういう地域じゃないかなと。むしろ胸を張って良いのではないかと思っております。以上です。

【司会】

どうもありがとうございました。それではよいよ2番目の課題解決や活性化などについてということで、前のスクリーンに地域課題の整理ができましたので、課題解決や活性化などを15時25分頃まで、ご意見を頂ければと思います。

まず、最初の課題であります、まちづくりということで若者のまちづくりへの参加が少ない、或いはまちづくり団体役員の役割が多過ぎるというような課題がございました。

このテーマ以外でも結構ですが、ご意見はありませんか。

そうすると、あと福祉では商店の閉店の問題がありました。買い物弱者の課題。それから、独居老人の増加、民生児童委員の人数が少ないということで課題が出ました。それから、安心安全の部分では高齢者が安心して歩ける歩道が少ないという課題がございました。

環境では、ボランティアのみの消防の問題、それから立ち入り禁止区域の整備、開放の話、それから公園の景観整備ですか。

公園については、大きな整備。老の山公園の話。

居住環境が悪化してきているという課題、子育てだと子ども同士の交流機会が少ないため、中学校になると非行に走りやすいことや、子ども達の活動が多過ぎて、子ども会の加入者が減少しているのではいか。

スポーツでいうと若者が減って地域スポーツの参加者が集まらなると、競技人口の減少。最後、これはまちづくりの方でしょうが、高齢者ばかりで新しいまちづくりの展望がちょっと見えないというところで、いくらかも課題解決の話も出てきたので、今まで出てきたテーマ、でどれでもいいと思いますけれども。

何かこういうことをしたらどうかとかそういう意見があればお願いします。

今出された意見について、何か解決策とまではいかなないでしょうが、何か方向付けの話がございませんでしょうか。なかなか難しい課題ですね。

先ほど、いくらか出ていた意見というのは高齢者の関係で、お助け隊のこと、サロンの話がありました。行政には交付金の検討をというような話がありました。

あと、始めに若者のまちづくりへの参加が少ないという事について、何かご意見といたしても、今日は年寄ばかり来ていますから難しいよね。

若者の首に縄を付けて引っ張ってくるわけにもいかないし。

先ほども、体育振興会から体育祭をやっても人が出てこないですよと。一所懸命、役員が回覧や声かけをしても。学校側も色々と斡旋はしてくれていますが。

【市民】

商店街の買い物の件について、今、100円バスというのがありますが、それで100円の運行にバス利用者と行政で互いにどれくらい損をし、サンデンバスがどのくらい儲かっているかということもあるでしょう。

私は、サンデンバスは100円バスを運行しても利用者が多くなって損していないと思うんです。

それに、100円バスを利用して、一の俣温泉なんかにもお客がどんどん増えていると聞いているので、1年中100円バスを走らせろと言う訳ではないが、例えば彦島から駅までの区間を割引したとしても、行政はそんなに大きな額を払わなければいけないという訳でもないと思います。以上です。

【司会】

バス運賃の割引をもっとして欲しいという話ですね。

福祉の関係でしょうから、買い物バスを増やして欲しいという事ですね。

【市民】

バスの割引についてです。

【司会】

割引か。バス運賃の割引の話は、実際に可能性があるんですかね。バスとかタクシーって言われましたでしょうか。タクシーはちょっと家から家なので、タクシーは高いよね。

【市民】

だけど、バスで行くよりもタクシーで駅まで行ったほうが近くなるんですよ。

杉田から降りたり、あっちから降りたりすると皆が駅で買い物するから。

弟子待からは通勤時間帯以外はバスが1時間に1本しかないんですよ。

だから、どの位の費用が掛るかという話だけでしょう。

【司会】

確かに商店が無いよな。高齢者は買い物には困っているんだよね。

今、出ているのが、お助け隊の結成。これも可能なんですか。誰が助けるんですか。

我々の自治会では、細かな話になってくるとちょっと自治会では対応できませんよね。

自治会の役員が皆75～76歳ぐらいばかりなんですから、自分が面倒見てもらわなきゃ、敬老会員についても同じですよ。そうすると若い人たちの力が必要だということですよ。

【市民】

僕が言っているお助け隊というのは、我々の町内に有志会というのがあるんですよ、踊りなんかも・・・。

【司会】

もう既にそういった会があるんだよね。

【市民】

もうあるですよ、手伝ってくれる人とかそういうの。

そういった人達、若い人達が植木でも刈ってあげようとかお婆ちゃんに言って、そういった人達を活用しながら町内全体で助けようとしているんですよ。要はそういう事なんですよ。

【司会】

まさか無料でしている訳じゃないよね。

【市民】

無料でしています。

【司会】

それじゃあダメ、続かない。

【市民】

だから、そういった事をするのに、そこの自治会単位で動くのか、ある程度、中学校単位にするのか、案外そんな話になるんだと思いますが、ここで急にと言う訳にもいきません。

それと、サロンの運営についてですが市費による協力、これですね。

今、塩浜でやってることが通用するか、しないかは分かりませんが、現在、社協から食

事サービスのことで年間15万円貰って、1回が70人前後、10ヵ月の食事会を月2回開いています。

ところが、段々と出席者が減ってくるんです。というのも、会場へ来ることができないという理由が出てくるんです。歩けない。しかも、来るときは坂を下りてくれば良いだけですが、帰りは坂を上がれなくて。

そのため、一時期は参加者が多かったのですが、最近は3分の2くらいにまで参加者数が減っています。

新たに該当する人が出てきて、参加されたいかがですかと言うと、私はまだそんな施しを受ける年じゃないというようなことで、元気な人はそれでも良いのですが。

だから、これもある程度の場所も必要ですし、町によりますからね。これも折を見てどうか、事あるごとに、地域で集まる時に話をしようと言ってはいるんです。

でも、その時はそうしようとなるんですが、実際、当日になると出てこないですよ。

そういう問題もあります。一所懸命やるしかないと思うんですけどね。

【司会】

今の件で他に何かご意見ございません。そんなところですね。

それでは、次に安全安心、高齢者が安心して歩ける歩道は確かに少ないね。

【市民】

そこで、例えば弟子待。弟子待の事だけを言うのもどうかとは思いますが、あそこはちよっと道が狭いんですよ。

その道は制限速度が30km/hですが、大体30～50km/hで走る車もいます。

そこで、あの道の片側を例えばシルバーゾーンにしたら、交通はどうなるんですかね。

その辺がちょっと詳しくないんですが、ただ、それを入れて貰いたいと思います。

弟子待の所まで車で入ってきたら、その先は行き止まりのため50km/hで走る必要も無いので、シルバーゾーンにできないかなと思うんですけど。

【司会】

これもやっぱり運転手のモラルかね。

【市民】

杉田地区が線を引いているよね、あの線が続けてもらって引けばいいんじゃないの。

【司会】

今はそう思っているだけで、何も正式に申請していないんでしょう。

【市民】

申請すればいい。申請しないとダメだし、ダメならダメと言ってくる。

【市民】

通学ゾーンにすれば良い、通学ゾーンとシルバーゾーンは一緒。

【市民】

結構、若者が車を飛ばすよ、ひまわりの下なんかすごく飛ばしてくる。

【司会】

そうですね。安全運転、まずはモラルですね。あとシルバー区間を設定出来るか、出来

ないか。シルバー区間を作ってもモラルが無ければ飛ばすからね。

【市民】

杉田では、杉田と角倉の通学路に黄色いラインを引いていますが、それがあると車も飛ばさないでゆっくり走ってくるので良いですよ。

【司会】

今の話はそういうことで、次は環境にいきますか。

確かに、今は立ち入り禁止が多いし、国有地はほとんど立ち入り禁止だね。

山に入ると柵が作ってあるし、だからといって柵を開けると、今度はゴミの山。

多分、ゴミを誰かが捨てるから柵を作るのですが、この前、田の首の裏の小山の向こう側にある海岸線なんて、昔は行って海に足を浸けられたけど、今はもう全部柵がしてある。

ゴミの問題なんですよ、これもどうにもしょうがないね。国に行って柵を開けて貰うの、だけどゴミを捨てる人を一日中、見張る訳にもいかないしね。

罰金を取りますと看板に書いてあったって、誰が見つめるのかと思います。

後は、老の山の件ですが。

【市民】

老の山は3年前に何億円もかけて大改修をしていますので、なかなか意見も通らないとは思いますが、リニューアルして私が思うのは、あそこの山に上がったものすごく景色が良く、木が無ければもっと景色が良くなる訳ですよ。

そうすれば、もう少しお客も集まると思いますし、観光バスだって上がると思います。木を切るぐらいなら、全然、金も掛らないですよ。

【市】

同じ位の強さの要望で、木を植えて欲しいという声もあるんですよ。

公園には日陰が無いじゃないですか。日陰が無いとお年寄りも、もう全然公園には行けないですよ。もちろん、防犯上、子どもが見えなくなるような植え方はまずいのかも知れませんが、逆に影があるような公園も欲しいという意見もあるんですよ。

【市民】

だから、ここはもう日陰は無いけれど景色は絶対見えますよとか、1つ有利なものを作っておけば、ここは景観が360度パノラマ公園ですよと言ったわけですね。

【市民】

景観を、要するに公園の周りから見ると。

真ん中の木が植えてある所から見なくても、公園の真ん中に木を持って行って、縁から見えるようにすれば良いんじゃないの。

【市民】

一番上から景色が見えれば良いので、下に下りてからは見えなくても良いですよ。

やればできると思うけどな。景観が悪いところも。

お金は余り掛らないと思いますよ。切るだけなんで。

【市】

いや、木を切るだけでもかなりのお金が掛ります。

【市民】

まあ、公園の中じゃなくて、公園から下の駐車場にある木が高くて景色が見えないので、そちらを切ることも出来る。

【市民】

展望台を作ってもいいですが。

【市】

そこでも良い訳ですが展望台を作ると金が掛るかなと。

今、火の山公園は、結構良くなっていると言われましたが、雑木というか木があるので、かなり剪定しない景色が見えない。ある程度上からだったら見えますけど。

【市民】

火の山公園は、ウッドデッキを作っていますよね。

【市民】

雑木は年々高くなるので、毎年切らないといけないが、法面の傾斜がかなりきついので切るのに苦労しますよね。

【市民】

木を切れば、観光バスや観光客がどんどん来るんじゃないかと思います。

皆さんも老の山公園に行ってみて下さい、火の山よりも本当に景色が良いですよ、360度パノラマですから。

【市民】

結局、景色だけでは勝負にならないですね。時間が持たない。

【市民】

やっぱり、南公園なんかは結構プロのカメラマンがよく来ますよ。

関門海峡の全景を撮ると言っていましたが、この地方で景観は5本の指に入るらしい。だからあそこは駐車場がいつも一杯で、そのほとんどはプロのカメラマンなんです。絵葉書だとかパンフレットの写真を撮りに来るんですよ。

だから、彦島ってそういう素晴らしい所があるんで、それをPRできる力を彦島全体が持てばいいんですよ。

ただ、展望台を建てたり、景観が悪いからっというのではなく、あそこに上がったらこれがあるんだよ、玄界灘の絶景の夕日が沈むところが見えるんだよ、といったものをPRしていけば、あとは風車が壊れなければカメラマンが来るはずなんです。

だから、そういうPRの力が彦島全体に不足しているので、それは行政がもっと、どんどんアピールしていけば良いと思います。

【市民】

それは下関全体の問題だと思うよ。下関全体が観光化できないというのは、観光資源は市内に一杯あるのに、観光資源に対する集約度がなく、宣伝力もない。それから観光客を呼び込むためのバスというのが無いですね。

【司会】

市もPRして下さい。

【市民】

だから、そこをうまくやると良いんだよ。

昨日、仕事で門司の周辺をちょっと調べたところ、ラジオで下関インターチェンジの出口が3km渋滞だと言っていました。

要するに、高速道路を使って下関に入ってくるのに3km渋滞してるんですよ、朝8時に。工事が原因という訳じゃなくて、観光客が入ってきているんですよ。

今、唐戸に「はい！からっと横丁」が出来たから、それを目的で来ている。

だから、午前11時から午後1時の間は下関インターに近づけないもんね。

【市民】

僕は仕事の関係で宇部に良く行きますが、あそこは連休になると朝8時頃は絶対通れないですよ、2車線全部パンク状態になるんで。

【市民】

だから、例えば江の浦に清盛塚というのがありますよね。あれを整備してあげれば観光資源になるんです。あそこは木も切られてきれいになっているので、景色も良く見えるようになっていきますよ。

【市民】

だから活性化するっていうことは観光客が来て、人が動く。そうすると自然に若者が集まり、商業的なものが出来てくると、ある程度の収益が入るようになる。そうしないと活性化できないんだよね。

だから収益化しないで、ボランティアで活性化しろと言われても、それは無理ですよ。

だから「はい！からっと横丁」が出来たんで、今、唐戸商店街は元気がいいと思いますよ。客が来るので、金も落ちてくる。そうすると地域の間人が手伝おうかっていう話になる。

ところが何も無く、収益も無い所に、何かしろと言われても誰もきませんよ。

さっき言われたとおりですよ。でも何かもう一つ要るんです。

【市】

景観賞というのを市の観光交流部でやっているのですが、去年、彦島から老の山と巖流島を応募したのですが、選考で落ちてしまいました。しかし、そういったものは市でも取り上げて行こうとはしています。

【市民】

それともう1つ、先ほど空き家があるということでしたので、それなら、それを利用して、空き家を駐車場にして何かで観光化することも可能ではないのか。

【市】

空き家の対策については、今回、新しい条例ができて、その辺では行政の取り組みも若干ですが進んではいます。

【市民】

何かが必要なのでしょうね。とにかく活性化するっていうのは商業ですよ。もう工業は終

わっていますから。商業化、観光化された中で、地元にお金が落ちることが大事なんですよね。それがあれば何か違う施策が出来るようになるんですが、下関にはそういう資源があっても、それをうまく活用する策が無いんですよね。どう転んでもどこにもない。

【市】

私も、去年まで観光交流部にいたので頭の痛い話ですが、観光政策に意識して力を入れても、まだまだ出ていないとよく言われます。

一例というか、今、市も住宅対策を結構してるんですけど、先ほど、PTA会長からも話がありましたが、せっかく市をPRする中で、ある市では地元の絵葉書を作って、売りながら市をPRするだとか、市もしないといけないが、地元でも出来ることがもしかしたらあるんじゃないかなと思いました。

【市民】

それを自治会に求めても無理、自治会が金儲けをすること自体、無理です。

【司会】

それでは、その辺で時間もきますので、次の子育てについて。

ここですが、交流の機会が少なくなったという事ですが、地域文化を子ども達に伝える活動、地区の交流機会を増やすということですが、これもなかなか難しい課題ですね。

【市民】

ちょっとお伺いして良いですか。私、前から気になっているんですが、私の出身校である本村小学校は、今全て1クラス。それも30人に満たないようなクラスというか、学年もあるとのことなんです。

自分が行っていた時代は、40～50人位の8クラスが1学年だったのに、なんとという変貌ぶりというか、減少ぶりにもものすごく驚いています。人数が少ないのにイジメの問題やなんかがあると聞きます。なぜ、そういったことが起こるのかと思いますが、これは教育の問題なので言いにくいですが、私がいつも思うのは、自分達の時代は、人数が多かったから、結構まともにみんな育ってきたんじゃないか。

さっき言われていた交流があったから、同じ学年であっても互いに全然知らないまま、今まで育った人もいまして、大きくなってから、お前も本村小学校かみたいな。

だけど、かえって人数が少ない方が良いというような風潮がずっとあって、今まできたが、なんだか少し考え直さないといけないのではないかな、という気が最近しています。

1年生から6年生までずっと同じメンバーで、せいぜい席替えだけです。クラス替えが無いからね。

なんだか、そんな状況だと、ある人から聞いた話ではあるが、クラスで順列ができてしまって、色々問題も起りそうで、起っていると聞きました。

そこで、自分なりに思ったのが、西山小学校と本村小学校くらい、せめて一緒にすればいいんじゃないのかという。以前、何かそんな話が出ていましたよね。

どういう風な経緯があったかは知らないが、そういった問題はここで討議する問題じゃないのかもしれないけれど、交流が少ないということに対する対策になるのではないか。

【市民】

それはある、絶対にあると思う。

【市民】

もう率直に申し上げて良いのかどうか分かりませんが、本当、小学校の数が多すぎるんですよ、彦島の中に5校は。

だから、土地がたくさん余っていると皆は言いますが、それを市で買い上げて、そこに小学校を1校だけ、大規模なものを建ててしまえば、更にサンデンバスの協力を受けてスクールバスを通せば、一括して彦島全体の学区が1つに集められるんです。

そうしたらイジメが無くなるまでとは言いませんが少なくなるでしょうし、交流も深まるでしょう。

そのまま全員、中学校にどんと進めば良いだけのことですから。

今、玄洋中も彦島中も人数がすごく減っています。先ほどおっしゃったように1学年1クラスという現状も、これは避けて通れない道なので、だったらもう小学校も一緒、中学校も一緒にそのまま9年間、その学校に行かせてやったほうが子ども達のためにもなることだし、保護者のためにもなると思うんですよ。

児童、生徒の数があれば保護者同士の交流も増えますし、子どもの人数が増えれば子ども達の交流も増えます。

それが学校側としての、PTAとしての課題じゃないでしょうかね。

やってみなけりゃ分からないと、皆さんそういう風におっしゃいますが、やるためにはやっぱり行政にも動いてもらわないと、これだけは一個人、一団体でできる問題じゃないと思います。

【市民】

以前、学校統合に対して反対があったというのは事実なのですよ。

色々な問題がありまして、企業の関係も大きかった。特に西山小学校と本村小学校で比較しても差がすごくありました。なぜかという、西山小学校は企業が3つあり、今は1つなくなったので、2つになって児童数もかなり減っています。ただ、今後、その話が出てくるのは確かな話です。

【市民】

もう一つは、町内に校庭の草刈の援助をして欲しいと言われているんですよ。それ程少ない人数でやらないといけない。

ただでさえ年寄りの自治会に、そんな援助を求めるという状況です。

【市民】

それが良いか悪いのかという意味では無いですが、ただ、それも子どもが少くなれば親も少ないから、そういった奉仕活動も十分できないということで、学校の運営ロスのようなものだと私は思うんですね。

【市民】

今、学校に対して予算がほとんど出てないらしいんですよ。

今、耐震化の問題で、耐震化にほとんどの予算が行き、逆にPTAとして要望を上げていることすら通らないというのが実状なんです。

向井小学校でもそうですが、木がものすごく大きくなって、切らないといけないので、PTAでも切るし、地域の皆さんにも協力して切ってもらって、一所懸命みんなでやってみましょうということを、コミュニティ・スクールを活用させてもらって、お願いしている状況でもあるし、もうその部分は草木や枯れ木が入って、雨水がものすごく流れてくるという状況です。そういう状況の対策を市に要望しても、1年たっても2年たっても回答は無く、さらに、もう自分達の事は自分達でやってくださいと、逆に回答してくるような状況です。

しかし、市の建物を自分達で勝手にいじったりすると、勝手に触らないで下さい、加工しないで下さい、といった風な形で叱られることもあるので、どうしたら良いものかと色々葛藤していきながら、PTA活動をやっている状況ではあります。

【市民】

そこで出来たのが、今おっしゃったコミュニティ・スクールで、地方自治体と学校、PTAそれから教職員が集まり、学校のために何ができるのかっていう会議をして、先ほどおっしゃったような草木の手入れであるとか、学校でペンキが剥げたらペンキ塗りの応援団とかいうことで、ボランティアとして皆でやっという、そういう風なモデルみたいなものなんですよ。

【市民】

さっきの学校統合の話を書き返すようですが、統合したらより効率的になるってことじゃないですか。校舎の耐震化も2個ではなくて、1個すれば良いってことになる。

PTA活動も2個が1個になれば、今まで既存のPTA活動をしている人たち同士が丸となれるとしたら、それだけでも活性化するといったらおかしいけど余裕が出てきますよね。

【市】

活性化というよりも幅が広がりますよね。生徒全員、保護者も全員集めると。

【市民】

ただ、どこに集約するかといった活動になっているんですよ。

要は、不動産価値の問題だとかが関係してきていると思うので、どこに集約させるかというのが、多分ですが、地元の地主さんとかの反対意見になっているのではないかなと。

【市】

学校の統廃合というのは、むしろ行政側ではそういう風にしたいと思っていますが、それをやると必ず不便な地域が出てきます。

そのため、地域側が反対するという傾向が一般に強いと思うんですよ。

行政的には、効率的にした方が良いに決まっていますが、それは例えば本村小学校と西山小学校を1つにして、本村側にと言うと、西山側が、これは厳しいぜということになりますし、新しく建てるとうちまた経費も掛ります。

どうしても遠い人というのが出てくるので、反対運動になるんです。

耐震化もやっぱり優先順位をつけて、今やっています。

【市民】

これは私の意見ですけども、小中一貫校にしてしまえば良いんじゃないかなと。

【市】

そうすると、みんなからはバスで送迎してくれといった話にもなります。

【市民】

それが理想じゃないんですか。

今、子ども達の問題を全て把握して考えると、まちづくり以前でも子ども達がこれから主役になるとすれば、少しでも彦島に食い止めようと思えば、それがやっぱり一番の問題点というか、やっぱりやって欲しいなという要望ですよ。

もっと幅広いものにして、お年寄りが増えたと言われますけど、子ども達が減ってきている現状ですね。

だからそれをケアできるのも子ども達とお年寄りの関係、悪化せずにそのままいい付き合い方をするっていうものに関しては、子ども達を全員で集め、保護者を全員で集める。そこに足して高齢者も全員集めるっていう形に、今後の理想としてやって欲しいかなという部分ですよ。

確かに人件費もかなり減りますよね。一貫校になったら小・中学校の先生もPTAも。

【市】

その分、今言ったようスクールバスですね。

中学校の区域では児童の通学が大変だから、やっぱり豊北地区でもそうだったのですが、4つの中学校を1つにしてスクールバスを回すという形になっています。

これについては、教育委員会が恐らく今後、取り組むと思いますので、小学校、中学校でも意見を出されたら良いのではないかと思います。

【司会】

どうもありがとうございました。予定時間を少し過ぎました。どういたしましょうか、これの総括ということで前のスクリーン部分を全部読み上げましょうか。

【市】

今、既にずっとやってきましたので、読み上げる必要はないと思います。

一応、今日の話し合いの結果は、今後、整理をして発言内容を下に羅列した形でホームページに載せていきますので、そういうふうに集約をさせていただきます。

【司会】

それでは、総括ということでありましたけども、先ほど申しあげましたので取りやめます。予定の時間の関係で少し過ぎましたが、以上で話し合いを終わりたいと思います。円滑な運営にご協力いただきありがとうございました。

【市】

それでは、こちらの方から一言申し上げます。

今日は貴重な時間の中、お集まり頂きましてありがとうございました。

今日のまちづくり集会という形は、今までの集会、皆さんの集まりの中での協議の時間が、少し違っていたと感じられたのではないかと思います。

大体、行政が来ると、何かの目的に向かって突っ走る傾向が強いもので、地元に対して

何か了解をもらうために行政が来て、これをやるから宜しく、というような機会が多いかと思いますが、行政も少し地域づくりの面においては、こういう風に要望していくというのは、これまで連合自治会などを通して沢山言っただけです。

それが実現的に出来るものもあれば、時間が掛る物もありますよね。

それでは、時間が掛かる課題に対して、そのまま放置して置くとすると、それを放置している時間ほど、自分たちは不利益を被ったまま、又は損をしたまま、じっと我慢をしないといけないのかといった面もあります。

そういう風な中で、本当に地域で今できることを考え、何が出来るかというものを、今の段階で少しずつ自分達の中から何かを生み出すきっかけ、出来るものを生み出すきっかけを、こういった場で持って頂いて、行政もそれに応援できる事があれば、色々な形で応援していく、というような会を、今後は地域に育てていく、又は作っていく、又は応援していくのが、この会ではないかと思っています。

それぞれの地域が、必ずしも大きなものを期待できる訳では無いのかもしれませんが、もしかしたら、地域の安心とか安全への、少しでもきっかけになればと思います。

こういった少し落ち着いた場で、皆さんで情報交換をすれば、他の地区でもありましたが、まちづくりを推進する会の方の中には、なかなか若い人が居ないという話をされたら、PTAの方などから、声かけてくれたら行ってもいいよ、といった話なのです。

結局、困ったときに、日頃からそういった会話が無かったら、そういう方法にも気づくことが出来ないというということもあるんですよ。

ですから、たまにはこういう風に、少し広い場で、沢山の人の中で話題を共通する話をすれば、もしかしたら、新しく地域の中で応援する関係も生まれるかも知れませんので、市も、この様なまちづくりを地域の中心に考えて、推進する会を応援していきたいと思えますし、次に向けてのまちづくり会といった風な形を通して、色々なことを期待しておりますので、色々な形で応援させていただきます。今日はどうもありがとうございました。